

病院再建

地震によって損壊したり、危険と判断された建物は取り壊され、各地で新しい施設の再建が始まっています。その間、今も多くの病院が仮設のプレハブや、補修した建物などで診療や入院患者を診ています。

仮設プレハブ施設は従来の施設ほどの収容能力もなく、機材や空調も整っていない場合が多く、夏はプレハブが暑くて症状を悪化させる患者さんがいたり、各地で病院の再建を待ち望む声が聞かれました。

日本赤十字社は被災した3省(四川省、甘肅省、陝西省)で、31ヶ所の病院と28ヶ所のクリニックの再建を支援しています。病院は2009年4月以降順次着工しており、おおむね1年で完成する予定です。

©日本赤十字社



甘肅省の仮設クリニック(甘肅省隴南市徽県)



仮設プレハブ入院棟。布団は自前(甘肅省隴南市徽県)



四川省綿陽市游仙区の病院の仮設プレハブ入院棟



同左病院再建の鋤入れ式(游仙区第二人民病院)



建物が一部損壊したため待合室が確保できず、屋外で診療を待つ患者さん(陝西省漢中市城固県)



建設中の日赤支援病院(陝西省漢中市城固県)